

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	YCC もこもこ 長居教室		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日 ～ 2025年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49 (回答者数)	37
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	管理者や児童指導員の取得している資格が各々異なるため、様々な視点から学習支援を行うことができます。 オリジナリティある課題を作成して取り組んでいます。	様々な専門的な知識をもつスタッフが在籍できるような人員配置を行っています。教材を作成する中でも、各々で支援内容を考えつつ、より知識が得られるように毎日ミーティングを行いながら、様々な視点で話し合いを行っています。	保護者様のお迎えの際には、その日の活動がどんな様子であったかをしっかりお伝えできるように努めています。取り組んでいる課題が学習内容に関して、どのような意図・狙いなども伝えられるように、日々研鑽を行っています。
2	個別担当制のため、利用者様お一人お一人へ成長の流れに沿った支援ができます。また、勉強に限らず日常生活で活用できる学びやコミュニケーションなどSST支援も行うことができ、しっかりと伝える・復習する・ステップアップするなどのきめ細かい支援ができます。	個別担当制のため、お子様の得意・苦手を把握して寄り添える支援を行っています。また、話したい気持ちの時には話す時間を設けるなど、その時の気持ちにも寄り添いながら支援を行っています。	日常生活で活用できる学びのサポートができるように、関わり方のロールプレイを行うなど、実践に近くなるような活動も取り入れていきたいと考えています。
3	個別担当制ではありますが、担当以外のスタッフと関わるタイミングを図ったり、メンバー同士で関われるグループワークなどの時間やイベント事を設けています。	学習後の休憩時間中にお菓子をもらいにスタッフルームへ向かい、担当以外のスタッフに欲しいお菓子を伝えることや、通所時・休憩時・集団活動時には、担当以外のスタッフから積極的に話しかける時間を設けています。全員の先生の顔の把握をしてもらえるように、スタッフからのアクションを行っています。	週1回～2回の短時間通所のため、メンバー同士で話しが盛り上がるのがなかなか少ないのですが、メンバー同士でも関わり合いがもてるように、協力するゲームを行ったり、イベント事で一緒に取り組むなどの機会を、今以上に設けていきたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がないため、学校でのリアルタイムの子どもの様子を掴むことが難しいです。	学校へお迎えに行くなどのサポートを行っていないことから、お子様の学校での様子などは、送迎してくださっている保護者様よりお聞きしている状況です。送迎を要しない高学年の小学生以上のお子様に関しては、学校での様子に関するリアルタイムな把握が課題と考えています。	送迎業務の導入は現段階では見通しがないため、送迎いただいている保護者様には活動の振り返りの際に引き続きお話をお伺いしていきたいと考えています。また、送迎を要しないお子様に関しては、面談やご連絡を行いながら、事業所での様子も含めて共有をしていきたいと考えています。
2	他の放課後等デイサービスの事業所様や福祉施設との連携をさせていただくタイミングが少ないです。	様々な事業所様に通われているお子様が多いなか、事業所同士の繋がりがや福祉施設の連携での関わりがなかなかできていないことが現状です。そのため、お子様が他の事業所様でどのような様子で過ごされているかの違いを捉えづらいなと感じています。	相談支援事業所様とは、支援計画書の更新に併せて共有と連絡をさせていただきたいと考えています。 他事業所様とは、市区町村での催し物などがあれば、積極的に参加をして繋がりを築いていきたいと考えています。
3			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
YCC もこもこ 長居教室		年 月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		広いスペースを確保して、利用者が落ち着いて活動ができる距離感になるように、空間を整えています。	玄関スペースが少し狭いため、お迎えの際にはなるべく玄関で密集にならないように、お声かけさせていただいています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		教室自体はバリアフリー化に努めており、掲示物を貼る際にも、年齢に限らず確認ができるようにルビ打ちなどをしています。	建物自体が2階で階段しかないため、建物の構造としてのバリアフリーは難しい部分ですが、手すりを設置させていただいています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月1回以上のミーティングを行い、しっかりPDCAに取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年、保護者様には評価表をお配りして、事業所へのご意見をいただいています。その際のご意見もしっかり反映しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		管理者と職員、職員同士でも話がしやすい雰囲気になるように意識をしています。年2回面談もっており、聞き取りもしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価は設けておらず、保護者様向けの評価を基に業務維持・改善に努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月2回以上、事業所の勉強会・提携医療機関の医師による勉強会・提携大学の先生による研修会によって研鑽できる機会を設けています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		半年に1度の計画書の更新の際に、しっかり検討を行い、保護者様との交付を経ています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		支援計画書を作成するなかで、保護者様へ質問紙をお配りして、お子様の様子をお聞きさせていただいています。	ニーズに沿った支援ができるよう、質問紙を基にお電話等で追加のお話を聞かせていただき、より良い支援ができるように努めたいと考えています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別担当制のため、担当職員を中心に他職員にもお子様の様子を共有しながら、会議を行い、計画書を整えています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		会議を経た書類は、スタッフルームにて掲示を行い、職員全員が把握できるように共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		活動中の様子が確認できるように記録の作成を行っています。職員間で共有できるシートにて日々のアセスメントも記しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		計画書には、昨年度より5領域を追記し、お子様それぞれのニーズに合わせた支援ができるような内容を書かせていただいています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動前にミーティングを行い、職員全員でどのようなワークを行うか、提案・共有を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		集団で行う内容は2カ月3カ月は同じ内容にならないように、一覧表を設けて確認しながら設定しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別学習・集団活動での目標を設定して、支援に取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	気づいたことや嬉しかったことなど、個々の職員から話が上がり、全員で話に花が咲くことが多々あります。	支援後に打合せの時間を設けることが難しいですが、次週の事前打合せにて、しっかり共有することを努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		学習支援のため、取り組みたくない課題の際には2種類を用意して選べるように用意しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者および担当職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○		送迎がないため学校との関りは希薄ですが、保護者様へ随時お聞きして把握しておくように努めています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		保護者様からの情報を基に把握させていただいております。共有を要する場合には、しっかり連携を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		ご要望をいただいた際には、当事業所での様子をまとめた書類を作成してお渡しをさせていただいています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		児童発達支援センターとの連携は図れていません。助言や研修の機会は随時設けています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		交流の機会はなかなかありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		協議会の開催の把握ができていないため、今後はしっかり把握を行って参加していきたいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎いただいている保護者様へは随時お伝えさせていただいています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		事業所で茶話会を行い、保護者様が参加できる機会を作っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		初回面接時や計画書の更新時期に、保護者様・お子様へニーズをお聞きしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約時に行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時、面談を実施しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		茶話会を通して、交流の機会を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		お話をいただいた際には、早急に対応をしています。経過や状況なども随時お伝えするように努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		イベント開催時には紙面でのご報告や、HPのブログ・SNSにて発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報にあたる書類は、施錠ができるロッカーで保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		気をつけながら、対応させていただいています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		以前、1度だけ取り組みました。また会社全体で取り組んでいきたいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約の際にご説明しています。 また、年2回の防災学習にて訓練・周知を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		同上。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初回面接時に、服薬などをお聞きして、対処方法もご確認させていただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	初回面接時にて、保護者様からお聞きしています。	食事提供がないため、医師の指示書のご提示はありませんが、お子様への飲み物・おやつ提供は配慮しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		教室全体での勉強会にて安全計画周知を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害時の対応などは、契約時や防災学習の際に周知を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		少しでもヒヤリとしたことは報告書を作成し、事業所のスタッフルームへ掲示をして、職員全員が確認するように取り組んでいます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全体研修にて研鑽の機会を設けています。 当日の参加が難しい職員へも動画にて確認するよう周知しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束にかかる同意書にて、保護者への確認と同意を行っています。	

【ご利用者様回答】 放課後等デイサービス評価表（長居教室）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	教室の対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースは、十分に確保されていますか	100 %	0 %	0 %		
	2	職員の配置数や専門性は適切ですか	97 %	3 %	0 %	・担当の先生に苦手なところを把握していただき、助かります。	ありがとうございます。引き続き、お子様に寄り添う支援を行ってまいります。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされていますか	78 %	22 %	0 %	・何度も事業所にはお伺いしておりますが、意識したことがないため、わかりません。	貴重なご意見ありがとうございます。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていますか	100 %	0 %	0 %		
	5	課題等プログラムが固定化しないよう工夫されていますか	97 %	0 %	0 %	無回答：1 件 ・利用してすぐなのでわかりません。	貴重なご意見ありがとうございます。お気づきの点がございましたら、いつでもお声かけください。
	6	学校や他機関との連携に努めていますか	59 %	38 %	0 %	無回答：1 件 ・病院との連携はして頂いています。学校はしていません。 ・連携されているかどうかが見たり、聞いたりしないので、わかりません。 ・まだ利用期間が短いため、そういったケースがないのでわからない。 ・相談員さんとのモニタリングでもこもこさんと連絡連携が取れていないと報告を受けているため、今後連携いただけると幸いです。	提携医療機関や在籍されている学校との連携も、随時、行わせていただいております。学校との連携に関しての周知がなかなかできておらず、申し訳ございません。積極的に対応させていただきますので、いつでもお声かけください。 相談支援員の方との連携も随時行っております。計画書類の交付の際にはご連絡して共有をさせていただきます、連携に努めて参ります。貴重なご意見ありがとうございます。
保護者への	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか	100 %	0 %	0 %		

	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	95 %	3 %	0 %	無回答：1 件	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか	92 %	5 %	0 %	無回答：1 件	
	10	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか	84 %	14 %	0 %	無回答：1 件 ・他の方から苦情を聞いたこともありませんので、こちらの項目はわかりません。 ・苦情はありません。いつもありがとうございます。	貴重なご意見ありがとうございます。
保護者への説明など	11	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか	100 %	0 %	0 %	・友だちと遊ぶことを優先させていただいた時期もあり、とても子供の気持ちに寄り添っていただいています。	貴重なご意見ありがとうございます。引き続き、お子様や保護者様のお気持ちに寄り添える支援を進めて参ります。
	12	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信していますか	95 %	5 %	0 %		
	13	個人情報に十分注意していますか	100 %	0 %	0 %		
非常時等の対応	14	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか	95 %	5 %	0 %		
	15	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	89 %	11 %	0 %	・行われているかはわかりませんが、お手紙などでわかりやすく報せて下さいます。	年 2 回、防災学習の形態で取り組ませていただいております。実施後にはお手紙でのご報告も行なっておりますので、またご確認いただけますと幸いです。実施の予告や報告がわかりやすいように、掲示等々でもご報告ができるように改善させていただきます。

満足度	16	子どもは通所を楽しみにしていますか	84 %	16 %	0 %	・終わった後は楽しそうにしているが、最近はサボりたい気持ちが出てきている。親としては教育を受けさせているので、本人が多少面倒に思うことは仕方ないがと思っています。 ・いつも楽しい催しなどしてくださり、ありがとうございます。 ・曜日、日によっては友達と遊びたかったと言うこともあります。もこもこさん好きと言っております。	貴重で、とっても嬉しいご意見ありがとうございます。 【学習】という避けたい部分でも楽しんで取り組んでいただけるように、スタッフ一同いろいろな方法でご提案させていただきます。 また祝日や季節のイベントなども企画を行ないますので、皆様に楽しみながら通所していただける施設を目指して邁進いたします。
	17	事業所の支援に満足していますか	97 %	3 %	0 %	・感謝しております。	こちらこそ、いつもありがとうございます。皆様の居場所になれるように、帰宅後に「今日も楽しかった！」とご自宅で話題にあげてもらえるように日々精進いたします。